

令和7年度 第2回三島市地域公共交通協議会 議事録

日時 : 令和7年7月15日（火）14時00分～15時30分
場所 : 富士山南東消防本部3階消防センター
出席者 : 委員28名（1名欠席）
事務局 : 都市計画課（長瀬課長、野知課長補佐、刈谷技師、増田主査）
地域協働・安全課（鈴木課長、柳田課長補佐、植田主任）
長泉町企画財政課 合同会社うさぎ企画

公開・非公開の別：公開
傍聴人数 : 0人
内容 : 1 開会
2 会長あいさつ
3 議事
 (1) 「三島市地域公共交通計画」事業実施状況の評価について
 (2) 令和7年度A I オンデマンド交通実証運行の実施について
4 報告事項
 (1) 「三島市コミュニティバス運賃無料デー」について
 (2) ハッピーライド in 静岡プロジェクトについて
5 閉会
審議結果 : 議案第1号 原案どおり承認
 議案第2号 原案どおり承認

<議案に対する質疑応答・意見>

【議案第1号】「三島市地域公共交通計画」事業実施状況の評価について

(委員 A)

第二種免許取得支援事業費補助金について、補助内容としてはどのようなものか。

(事務局)

令和6年度は37人から申請があり約200万円を補助した。補助率は3分の1、限度額は従業員1人につきバス事業者の場合14万円、タクシーの場合は7万円となっている。

(委員 A)

人材不足という話があったが、補助制度により、実際にドライバーのなり手に繋げていける見込みはあるか。感覚的なことでも構わないので分かることがあれば教えて欲しい。

(委員 B)

経費の負担軽減になるため、事業者としては補助制度があることでかなり助かっている。

(委員 C)

潜在的な人材を発掘するのにも有難い制度である。

(委員 D)

目標 2 「状況に応じて移動手段の使い分けができる」と事業評価との関係性が分かりにくい。現行計画では利用実態数を数値指標として見ているので、公共交通そのものの利用者数の底上げをねらいとするならば、次期計画では目標設定などについて丁寧に検討していくて欲しい。

【議案第 2 号】令和 7 年度 A I オンデマンド交通実証運行の実施について

(委員 A)

昨年度の無料実証運行では、楽寿園での乗降者数が一番多いということだったが、地図を見ると停留所は三島駅南口にも近い。楽寿園と三島駅南口のどちらを目的としている利用者が多かったのか、分かるか。

(事務局)

楽寿園を目的としている利用者がほとんど。楽寿園の駐車場が園から離れた場所にあるため、子どもと一緒にあれば、すぐ近くの停留所を利用し楽寿園に立ち寄る利用者が多かったと思われる。